

令和元年度

近江八幡市

まちづくり団体育成支援補助金

採択団体活動の紹介



一般財団法人ハートランド推進財団

ハートランド推進財団とは

ハートランドとは「こころのふるさと」という意味です。何げないこの言葉の中には、近江八幡の市民によるまちづくり活動の、長い試行錯誤の歴史と深い思いが込められています。

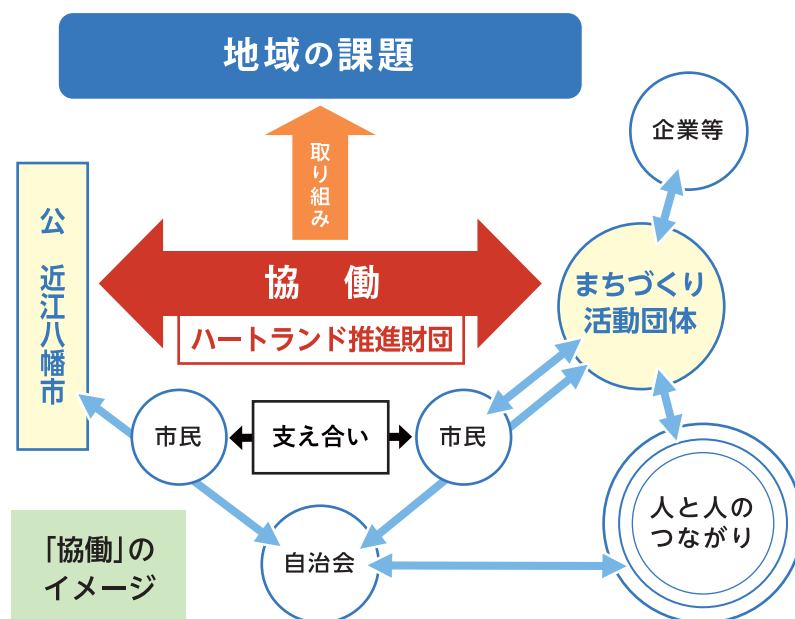
ハートランド推進財団は、近江八幡市をとりまく地域において、市民の自発的な参画と協力によるさまざまなまちづくり活動の相談・情報提供・その他機器貸出しや団体紹介などで積極的に支援し、市民のまちづくりへの創意と共感を呼び起こして、活力と個性にあふれた地域社会の実現に寄与することを目的にしています。

令和時代は、少子高齢化が加速化し地域の問題(困った)を「公助」(国・県・市等の行政機関等が対応する)だけでは対応できなくなってきました。「自助」(自分でできる)のできない人等には、「共助」(公助に替わり自分たちでお互いに助け合う。支え合う)の仕組みづくりによって活力と個性にあふれた住みよい地域社会の実現が必要と考えています。

この「共助」には、最低限の行政からの協力というカタチで『協働』を推進することになります。

『協働』とは、以下のようなイメージです。

ハートランド推進財団は市民による、市民のための、市民のまちづくり法人として、「協働」を推進するまちづくり活動団体を支援していきます。



【近江八幡市 委託事業】 近江八幡市まちづくり団体育成支援補助金

この補助金は近江八幡市から業務委託を受け、ハートランド推進財団が相談・助言・募集・活動支援・活動報告などを担っています。

協働のまちづくり基本条例の理念にのっとり、近江八幡市内で自発的にまちの課題に取り組む団体及び新

たに課題に取り組む予定の市民の活動を活性化させるため、その活動に対し補助金が交付されます。

「まちづくり団体」とは、市民がまちの課題に対して、自主的及び自発的に行う非営利の活動で不特定かつ多数の人たちのためになる活動をする団体等です。



【補助対象団体】

- ・活動の拠点が近江八幡市内にあること、又はその活動が主に市内で行われていること。
- ・5人以上の市民で構成されていること。
- ・申請時に定款・規約・会則等を有していること。
- ・継続的な活動が期待できる団体であること。
- ・公の秩序又は善良の風俗に反しない団体であること。

補助金を受けた団体活動報告【令和元年度・9団体】

白鳥川の景観を良くする会

代表者 吉田 栄治

白鳥川のJRから琵琶湖まで5km、700本の桜並木を毎月3回管理・除草・ごみ収集などの活動をし、市民の憩いの道にしています。

◆まちづくり団体育成支援補助金の活用

今回の補助金で、ゴミ回収用のボートを購入されました。地球温暖化の影響などで、最近のゲリラ豪雨は水位が急上昇し、上流や周辺から流れてきたレジ袋やペットボトルなどいろいろなゴミが流れつき、川辺に多くのゴミが残ります。

河川敷からでは寄り付けなかった川辺にも行くことができ、安全に効率よくゴミ回収ができるようになったそうです。



ボートでのゴミ収集作業

◆今後の活動

白鳥川沿いの桜並木を育て、除草やゴミ回収を定例活動とすることで、日本でも有数の桜並木新名所に育て、市民が散策する心豊かな憩いの場としていきたいと願い、主に退職男性が中心に活動して来年2月に15周年を迎えます。

最近は体力に合わせて自走式除草機や斜面式除草機の導入など、身体的負担の軽減も工夫しています。

また、「春の花見会」「年末の芋煮会」など会員相互の親睦行事もメンバーの楽しみとなっています。

女性や仕事をしながらの若い人たちの参加を募っています。見学・体験にぜひお越しください。



◆白鳥川で「遊」・「楽」・「集」の場づくり

4月「桜ぼんぼり祭り」では、子どもたちの絵をぼんぼりにしてライトアップ。5月には「鯉のぼりの川渡し」として鯉のぼりを白鳥川や遊歩道に掲げ、市民の皆様喜んでもらっています。8月には「羊の放牧」も市の風物詩として親しまれています。

桐原東小学校3年(町なか探検)・5年生(生き物調査・水質検査)の環境学習の一端を支援しています。



桜ぼんぼり祭り



自走式除草機を導入

ノルディック・ウォークで健康増進しよう

代表者 谷内 広宣

普通のウォーキングと比較して、
腕を使うことで上半身を鍛えるので
運動効果ははるかに大きいそうです。

◆定期的に集まり ノルディック・ウォークしています

初めての人でも全日本ノルディック・ウォーク連盟公認
指導員の谷内広宣さんが丁寧に指導しておられます。

ポールを持っていない人にも貸し出しをされているので、体験してみようかなという人も安心です。膝に不安のある人も、ポールを使うことで歩きやすくなるそうです。

◆まちづくり団体育成支援補助金の活用

体験用のポールを購入できました。初めての方が
来られても貸し出すことができ、気軽に参加してもら
えます。

遠くからも判るように、蛍光色のビブスを揃えまし
た。車の人からも見つけやすいので安全にノルディッ
クのウォーキングができています。



◆みんなで楽しく、気軽に、気持ちよく、健康に！

「皆と一緒に、楽しく、気軽にノルディック・ウォー
クで健康寿命を延ばそう」というのも良いですね。

各地のウォーキングイベントに参加して、みんな
でノルディック・ウォークを楽しんでおられます。

月1回以上、ひまわり館に集合しての定例ウォーク
の他、「ポールウォーク&ピクニック・バスツアー in
信楽」にも参加の予定でしたが、新型コロナウイルス
感染症の関係で延期となり残念でした。

◆会員募集・練習会

基本は毎月1回土曜日9時にひまわり館集合でみんな
でノルディック・ウォークしています。(雨天中止
の場合があります)

会員は随時募集しています。



育児・子育て中の人と地域の様々な世代の
交流ができる場づくり

◆まちづくり団体育成支援補助金の活用

HugBaby近江八幡の活動は「あかちゃん先生」など親子のふれあいを、子どもたちから高齢者まで幅広く体験してもらうことです。

今回の補助金で、あかちゃんや親子の都合がつかないときでも動画で見てもらえるようにということで、撮影・上映に必要なことなどにも使われました。その後の、新型コロナウィルス感染症の関係であかちゃんを連れてのふれあいが困難な中でも、上映会や性教育講座が開催できているそうです。



◆子育て世代の交流で孤立せず、悩み解消の支え合いへ

子育て世代と地域の人々がふれあいを通して密接につながり「命の大切さ」「愛情の必要性」を再認識するようになり、自己肯定感の向上・いじめの減少・性犯罪の撲滅を目指しています。子どもたちがあかちゃんと触れ合うことで、自分もあかちゃんのときにどれだけ愛されたかを体感できるからです。

◆今後の活動

勉強会や、おでかけ講座も予定しています。親子でのふれあい活動を通して互いの状況を知り、思いやりの気持ちを育み、育児を楽しめる場づくりをしていきたいと思っています。少人数での説明会開催と案内チラシの設置場所、一緒に活動するメンバーも募集中です。

発達障がいと知的障がいのある人の擬似体験型啓発 キャラバン隊「花bee」

代表者 秋村 加代子

障がいのある人の差別解消とインクルーシブ(仲間はずれにしない、分け隔てなく生活できる)な社会を目指し、障がいの有無に関わらず、誰もが安心して暮らせる共生社会を実現するため、目に見えない障がいの特性についての擬似体験・講座を実施しています。



◆まちづくり団体育成支援補助金の活用

講座に必要なデータを作成し、保存・使用するためのPC関連備品を購入されました。他にも擬似体験で使用する備品や、参加者へのノベルティ缶バッジなども揃えることができ、参加者の障がいについての気づきや理解につながっているそうです。

◆どこでもでも講座を開きます

近江八幡市の講師派遣リストにも登録し、人権学習や福祉勉強会の場など様々なところで講座を実施予定。ただ聞くだけの講座ではない、書いたり伝えたりやってみたりする体験講座を開催していきます。

NPO法人 Moms fun 代表者 秋村 加代子

子育てママの「あったらいいな…」をカタチにする、食・遊び・つながりの場「みんなの〇〇café」開催
未就学児の親子対象にボランティア先輩ママ達と料理・おしゃべり・遊びなどを通して、学びながら交流しています。

◆まちづくり団体育成支援補助金の活用

カフェや講座に必要なおもちゃ、お昼寝布団、避難グッズその他必要な備品を購入されました。「おしごとママの〇〇café」に育休後アドバイザーを講師として招き、勉強会を開催。市民に広く知っていただくためにリーフレットやバッジも製作し、参加の呼びかけに役立てておられます。



◆今後の抱負・参加者募集

「おしごとママの〇〇café」「災害避難所体験café」のテーマ型カフェを取り入れ、週1回開催していきます。毎週定期開催することで、多くの方に参加いただき、同じ悩みを持つ親同士のつながりや、困りごとの解決に結び付けたいと思っています。

「遠足」「勉強会」「〇〇見学会」など計画しています。

リーフレットを活用し、PRしていく予定です。



西の湖あそび隊 代表者 林 真澄

琵琶湖最大の内湖「西の湖」を舞台に、子どもたちと創作活動を実施しました。

◆まちづくり団体育成支援補助金の活用

3月22日に西の湖プラごみ拾い実施、その用具を購入されました。西の湖あそび隊の告知パンフレットを作成、WEBサイトも立ち上げて、西の湖の良さを発信されています。ワークショップ用のテント、その他備品も充実されました。



◆西の湖クエスト

オリジナルで制作したハンドブックを活用し、西の湖の探索をし、謎を解きながら自然を学びます。ゲーム感覚で、現場を歩きながらミッションをクリアする方式で、冒険者気分ゴールを目指します。

◆今後の予定

「西の湖クエストごみ拾い」「西の湖クエストでの防災ワークショップ」「西の湖プラごみ拾い」「船上観察会」などを開催し、西の湖の魅力を伝え、地域への愛着を育み、人の集う美しい湖を目指しています。



北之庄沢を守る会

代表者 乾 忠弘

重要文化的景観・西の湖の一部を構成する北之庄沢の景観を守るため、除草や清掃ゴミ処理活動をしています。

◆まちづくり団体育成支援補助金の活用

今回の補助金で、歩行型自走式草刈り機を購入されました。

会員の高齢化が進み、手持ち式の草刈り機では北之庄沢沿岸の広範囲にわたる除草が困難になっていたのですが、おかげで今まで出来なかった場所まで除草できるようになり、市民の皆さんにもその景観を楽しんでもらえるようになっているそうです。



◆重要文化的景観である西の湖の一部：北之庄沢

春～夏～秋～冬とそれぞれの季節に素晴らしい景観を楽しめる北之庄沢ですが、これも守る会のみなさんが定期的に除草・清掃、水面のごみ(ペットボトル・プラスチック類など)除去をしてくださっているおかげです。

◆今後の活動

地域住民と地域外からの賛同者が活動してくれていますが、メンバーの高齢化が大きな問題となってきています。活動日は主に休日ですので、仕事をしながらの若い人たちからシニアの方までの参加を募っています。

フードバンクびわ湖

代表者 曾田 俊宏

フードバンクとは、市民や企業などから食品や日用品を提供していただき、深刻化する子どもの貧困や食品ロスなどの問題解決に取り組んでいる事業です。

◆まちづくり団体育成支援補助金の活用

提供いただいた食品を保存するために冷蔵庫、仕分棚、運送用ボックスと、告知のチラシなどを用意しました。また、フードドライブの旗も制作され、市民に判るように掲げて活動とPRをされています。



◆今後の活動

「フードドライブ」として、ご家庭等から提供いただける食料や日用品などを「和ちゃ」(近江八幡市宮内町115-6)で受け取っています。各地のイベントにも参加しています。



キャリア教育を考える会

代表者 杉之原 千里

小中学生の可能性を引き出す活動で、将来の自立に向けた早期キャリア教育として実施しています。

◆まちづくり団体育成支援補助金の活用

お仕事体験ユニフォームを購入されました。市内の小学生パティシェ「みいちゃん」が、障がい乗り越え、滋賀県立男女共同参画センターなどでスイーツカフェを開催し、みいちゃんと同世代の子どもたちの可能性を引き出す活動をされています。



◆「みいちゃんのお菓子工房」オープン

令和2年1月26日にプレオープンしました。工房には1時間半待ちの行列が出来たそうです。お菓子作りは子どもたちにとっては楽しいことと思いますが、それだけではなく、お客様との接客も含まれていて、キッザニアに比べてもみんな満足しているようです。

9月21日にはみいちゃんの応援ソングお披露目ライブを近江八幡国民休暇村で開催を計画をしていましたが、新型コロナウイルス感染症の関係で延期となったのは残念ですね。しかし、市内をはじめ多くの人たちから暖かい声援をいただき、子どもたちの可能性を引き出すキャリア教育は必要だと感じました。



◆今後の活動

「みいちゃんのお菓子工房」は上田町にあります。また、新町の「かふえれおにーせ」でもスイーツをいただくことができます。

★オンライン「Zoom」でまちづくり活動に関する相談を受け付けます。(要予約)

各団体のお問い合わせは
(一財)ハートランド推進財団まで



一般財団法人
ハートランド推進財団

〒523-0864
近江八幡市為心町元9 白雲館内

TEL **0748-33-5510**

URL <http://www.zc.ztv.ne.jp/heart/>

Mail chukan@npo-omi8man.com

事業内容

- まちづくり活動の支援および助成事業
- 近江八幡市のまちづくり団体育成支援補助金
- まちづくりについての交流催事の支援および開催事業
- まちづくり活動を推進するための人材育成および意識啓発事業
- まちづくりに関する情報の収集事業、編集および提供事業
- まちづくりに関する調査および研究事業
- まちづくりに関する地方公共団体からの受託事業
- その他、当財団の目的を達成するために必要な事業

主な活動内容

- 「八幡塾」の開催
- 市史学習会・まちづくりサロン等の開催
- その他講座・講演会・シンポジウム等の開催
- 情報紙の発行 ●出版
- 市民のまちづくり活動に対する相談・情報提供・支援
- まちづくり団体等への助成・協力・後援など
- 視察等への対応